

STEP 3

次に、**要望する機械装置に関する情報**を選択・入力して下さい

※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい
 ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります
 ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12				機械装置価格、補助金等				参考	
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性※13	既存の機械装置の有無確認※14	動力源の有無	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)	一体的な要望の有無	優先順位
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択、手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択、手引きを参照のこと	
									1/2			1
												2
									1/2			3
												4
												5
												6
									1/2			11
									1/2			12
									1/2			13
									1/2			14
												15
												16
												17
												18

消費税額は手入力に変更します。

一体的な要望の有無は間違いが多いので、手引きを参照して選択してください。
 参考：手引き記載内容
 機械装置と各種アタッチメント等を一体的に導入したい場合は「x位と一体」を選択してください（優先順位は連番でなければいけません→要望の手引き参照のこと）

項目を新設します。
 動力源（トラクター、ホイールローダー、スキッドステアローダー、シャベルローダー、フォークリフト）に取り付けて使用する機械装置の要望は動力源について選択します。
 選択肢は次の通り。
 1 「動力源」は一体的に要望している
 2 「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する
 3 「動力源」は過年度の機械導入事業で導入した機械装置を使用する

令和6年度から選択肢を次のものに変更します。
 1 既存の機械装置がないことを協議会で確認した
 2 既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである（既存の機械装置は破棄する）
 3 既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである（既存の機械装置は併用する）
 4 既存の機械装置があるが、要望する機械装置は増備（増設）するものである

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

飼養頭 羽数 ※11	うち搾乳 牛、繁殖 雌牛、母 豚	成果目標の達成状況 ※21							施設整備との一体性※6		従業員数 ※22	経営規模の 区分 ※23	株式会社又は持分会社の要望のみ		取組主体の所在 地(市町村名) ※入力ルール ●●市 ●●郡●●町 ●●郡●●村	辞退履歴	備考 ※24
		(H28)年度 導入	(H29)年度 導入	(H30)年度 導入	(R1)年度 導入	(R2)年度 導入	(R3)年度 導入	(R4)年度 導入	活用事業	整備時期 ・内容			大規模法人への 該当の有無 【確認】	直近3か年の農業に係る売上げ が1/2以上占めるか 【確認】			
半角で 入力	半角で 入力	選択肢から選択							選択肢から選択	手引書を参照して具体的に 入力すること	半角で入力	選択肢から選 択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿っ て入力すること	手引書を参照して 入力すること	中古品の要望以 外の記載は不可

1年度追加になります。

令和6年度から入力する内容を次の通り指定します。

①「整備時期」は竣工時期（供用可能時期）を「R●年●月」の形式で入力（具体的な整備計画が前提であること）。令和6年度中に竣工する計画で無い場合は要望できません。

②「整備内容」は何を（畜舎、堆肥舎等）どうする（新築、増改築等）のか具体的に入力すること。また、要望する機械装置との関連性がわかるように入力すること。

項目を新設します。

当該取組主体が令和5年度の機械導入事業で配分された機械装置を本要望時点で1件でも辞退している場合は、次の情報を入力します。同一取組主体が複数の要望をしている場合は、全ての要望のこの欄に同じ内容を入力します。

①予算枠（一般枠 or 肉用牛・酪農重点化枠 or 飼料増産優先枠 or 省エネ優先枠）

②機械装置名

③辞退理由（簡潔に）